

令和7年度

肢体不自由教育部門

高等部

第3学年

③学習グループ

年間指導計画

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		国語・数学（知）			学習グループ名	高③
目標・ねらい		(1) 物語の中の言葉ややり取り、音や動きに興味を向けて、見たり聞いたりする。 (2) 具体物に気付いて、注視、追視をして、操作しようとする。 (3) 教職員の言葉掛けや関わりに対して、視線や表情、身振り等で表現する。				
担当教職員 *学校介護職員		小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数		210 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容			指導上の工夫
4	・数かぞえ ・読み聞かせ ・場面の追体験学習 『檸檬』 梶井基次郎 『蜘蛛の糸』 芥川龍之介	40	○ボールで数を数える。 ◆自分の得意な動きでボールを移動させ、数をかぞえる。 ○絵本・物語を見る、聞く。 ○物語の追体験学習 ◆友達と一緒に作品を鑑賞することを楽しむ。 ◆動作で物語の内容をたどり、理解につなげる。			・生徒の姿勢や環境づくり、教材の選定および提示の位置に配慮する。
5						
6						
7						
9	・数かぞえ ・読み聞かせ ・場面の追体験学習 『蜜柑』 芥川龍之介 『竹取物語』	40	○お手玉で数を数える。 ◆自分の得意な動きでお手玉を移動させ、数をかぞえる。 ○絵本・物語を見る、聞く。 ○物語の追体験学習 ◆スイッチを操作し、音や光を感じて、登場人物の行動をなぞり、理解につなげる。 ◆友達と一緒に作品を鑑賞することを楽しむ。			・視覚、聴覚、触覚等、保有する感覚に働きかける事ができるような教材や題材を使用する。 ・次の場面への期待感もてるように、言葉かけ、働きかけを教職員間で共通する。 ・生徒からの表出を見逃さずに受け止め、気持ちを共感し、フィードバックを行う。 ・抑揚をつけて読み聞かせし、場面をイメージするような教材も使用する。
10						
11						
12						
1	・書初め ・数かぞえ ・読み聞かせ ・ありがとうを伝えよう	40	○書きたい文字を選び、書字を行う。 ◆筆の感触や墨の匂いを感じ、毛筆での書字に興味をもって活動する。 ○スポンジで数を数える。 ◆自分の得意な動きでスポンジを移動させ、数をかぞえる。 ○絵本・物語を見る、聞く ○一年間の感謝の気持ちをメッセージカードにして作成する。 ◆他者とのコミュニケーションに興味をもつことができる。			
2						
3						
通年	・課題別学習 ・読書活動の充実	90	○個々に応じた課題別学習 ○読書活動			①個別指導計画に記載 ②週に数回、図書を借りて読む。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽（知）			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 音や音楽に興味をもち、音楽表現に必要な身体表現、楽器、歌唱につながる力を身に付ける。 (2) 多様な音楽に触れ、音楽に気付き、興味・関心をもって聴くことができる。 (3) 教職員と一緒に音楽活動をする楽しさを感じ、音楽経験を生かし生活の中で音楽を楽しむ態度を培う。				
担当教職員 *学校介護職員	高橋 尚子、小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	36 単位時間				
使用教科書					
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	音を楽しもう	2	○身体表現、歌唱、鑑賞 ◆新しい集団に慣れ、一緒にダンスや歌唱、鑑賞を通して表現する楽しさを味わう。		・生徒の表出を促し、表出を待つ。 ・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。
5	楽器を鳴らそう	4	○打楽器演奏、鑑賞 ◆音の重なりを感じ、自ら楽器を鳴らす楽しさを感じ取る。 ◆季節の歌を知り、春を感じる取る。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
6	世界の音楽	4	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆世界の挨拶を知り、音楽合わせて発声する。		・様々な国の特徴的な映像や衣装を示し、雰囲気が味わえるようにする。 ・「おはよう」「ありがとう」など、生徒の身近な言葉を歌詞に置き換える。
7		3			
9	日本の音楽	4	○楽器演奏、身体表現、鑑賞 ◆様々なジャンルの曲を受け止める。 ◆民族衣装や楽器に触れ、手本に従い身体を動かす。 ◆合図を見て演奏する。		・祭りの音楽や掛け声、音楽を聴き、雰囲気が味わえるようにする。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
10		3			
11	合奏しよう	3	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆音楽や光、楽器を通して好みの表現方法を見付ける。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
12		4			
1	日本の伝統音楽	3	○楽器演奏 ◆日本の伝統音楽に親しむ。 ◆お箏に興味をもち、自助具を使って音を鳴らす。		・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。 ・演奏するタイミングを視覚的に表示する。
2	季節を表現しよう	3	○楽器演奏、歌唱、身体表現、鑑賞 ◆様々な曲想の歌を受け止める。 ◆音楽やリズムの変化を受け止め、表現する。 ◆簡単なルールに従い、身体を動かす。 ◆季節の情景を音楽や光、楽器を通して味わう。		・興味・関心がもてるよう、教員が模範唱や模範奏を行う。 ・生徒に合わせた自助具を用意し、自らの動きを引き出せるようにする。
3		3			
通年	始まりの歌 終わりの歌	35	○歌、チャイム ◆授業の始まりと終わりを意識できるようにする。		・1年を通して継続して取り組み、意識できるようにする。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部		高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名		美術			学習グループ名	高③
目標・ねらい		(1) 表現方法に応じて道具を選んで使用する。 (2) 様々な素材に触れ、素材の変化を感じながら自分らしい作品を作る。 (3) 様々な表現方法や素材に触れ、作ることを楽しんで活動する。				
担当教職員 *学校介護職員		小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数		71 単位時間				
使用教科書		なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい			指導上の工夫
4 5	オリエンテーション 平面作品制作 ポスター制作	12	○絵画、ポスターを鑑賞する。 ○アクリル絵の具やパステル、色鉛筆、マーカーなど様々な画材を使ったモダンアートを制作する。 ◆混色や色面構成を楽しむ。			・手の操作性に合わせた用具を工夫する。 ・細かい部品の異色に注意する。 ・様々な色や感触に触れられるように課題を設定する。 ・鑑賞や振り返りの時間を十分に設けて、活動を評価する。
6 7	立体作品制作	15	○彫刻作品を鑑賞する。 ○紙粘土を使った彫刻作品の制作を行う。 ◆素材に触れて変化する形を感じとる。 ◆積極的に作品に関わって制作を楽しむ。			
9 10 11	工芸作品制作	22	○日本の伝統工芸を鑑賞する。 ○日常で使用する工芸品の制作を行う。 ◆形の変化を楽しんで制作する。 ◆様々な素材の感触を体験する。			
12 1	デザイン作品制作	11	○水墨画を鑑賞する。 ○墨絵の制作を行う。 ○デザインの制作を行う。 ◆墨の香りや和紙の素材を感じとる。 ◆手を積極的に動かして、変化する形に注目する。			
2 3	卒業展示用作品制作	11	○今までの共同制作を鑑賞する。 ○共同制作を行う。 ◆グループで協力して取り組む。			
通年	鑑賞		○友達や自分の作品を鑑賞する。 ◆作品から感じたことを表情や発声で表す。			

令和7年度（2025年度） 都立墨東特別支援学校（肢体不自由教育部門）年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育（知）			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 様々な運動経験を通じて、回転や揺れ等の前庭感覚に働きかける活動を行い、眼球運動やボディイメージの向上を図り、姿勢保持の力を高める。 (2) 自発的、他動的を含め、運動を多く行うことで随意的な動きをより多く引き出す。 (3) 自身の動きや表出のフィードバックを得ることで達成感を感じ、自発的に身体活動を行う意識を高める。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	35 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導上の留意点及び工夫
4	体づくり運動 リトミック	3	○柔軟ストレッチ運動を行う。 ◆身体の柔軟性について理解し、自分の身体の使い方を知る。		様々な動きのストレッチを行い、自身の体に関心を向けられるようにする。
5	陸上競技 体育祭種目練習	6	○体育祭に向けて競技のルールを理解したり周囲と協力して競技を行う。 ◆自己記録に挑戦したり、仲間と協力して競技に参加したりすることができる。		体育祭に向けての見通しがもてるようにテーマソングを用いたり、回数を重ねたりする。
6					
7	水泳	7	○リラクゼーションや浮力を活用した活動を行う。 ◆浮力を生かした活動を通してリラクゼーションや健康の保持増進を図る。		安全に留意し、浮き具などを活用しながら行う。
8					
9					
10	体づくり運動 「マット運動」	4	○傾斜を利用した回転や滑り降り、左右の傾き運動、エアートランポリンでの上下運動、回転ボード等、前庭感覚や固有覚を刺激する運動に取り組む。 ◆揺れや傾きに対して、自発的にバランスをとるような姿勢の保持や変換をすることができる。		無理な動きが無いように、生徒の関節の可動域や緊張具合を把握し、安全に留意して行う。
11	球技「ボッチャ」	7	○ボッチャボールを直接投げたり、傾斜台やランプを使用したりし、自身の得意な投球方法を見付ける。 ◆目的（ボール）に注目し、目と手を協応させて意図的に行動（投球）を起こすことができる。 ◆自身の行動（投球）と周囲の変化（賞賛や笛の合図）のフィードバックにより因果関係が分かる。		自身の順番を意識したり、動かす部位を意識できるように言葉掛けを行う。
12					
1	球技「ハンドサッカー」	8	○ポイントゲッターやスペシャルシューターのポジション練習 ◆スペシャルシューターやポイントゲッターの課題が分かり、シュートを決めることができる。		互いに応援し合う雰囲気を作る。
2					
3					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	総合的な探究の時間			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 学校行事の事前学習・事後学習を、友達や教員と協力して行う。 (2) 行事の事前学習を通して自分の課題を見つけ、課題解決に向けて生徒同士で関わる経験を重ねる。 (3) 進路学習を通して課題を見つけ、自己の在り方や生き方を考える。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也、石渡 ひかり、志賀 拓也、渡邊 沙綾 *芳賀 正次、*古谷 誠人、*島垣 悠斗				
年間授業時数	45 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	指導上の工夫	
4	高等部3学年の生活について	4	○高等部の1年間の活動に見通しをもって考え、学年目標や係を決める。 ◆高校部3学年の生活を知り、学年目標や係活動を決める。	話し合う場をできるだけ設けることで、他者との関係性を学ぶ機会を作る。	
5	ビジネスマナー	4	○職場体験学習にむけ、礼儀、マナーについて考え、話し合う。 ◆場に応じた言葉遣いや態度を知り、実践する。	ロールプレイで用いて、場面に応じての言葉遣いやマナーを体験する。	
6	進路学習①	5	○実習先について調べる。 ◆卒業後の進路について考える。 ○進路壮行会 ◆自分の進路選択に向けた取り組みを考えたり、友達の取り組みを知ったりすることで、進路に向けた意識を高める	ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。	
7		4			
9	進路学習②	4	○身近な人の進路体験を聞く。 ◆教職員などの進路体験を聞き、進路に対する実感をもつ。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。	
10	墨東祭事前学習	5	○墨東祭での発表内容を考える。 ◆墨東祭準備を先生や友達と協力して活動する。	集団の中での自己の存在や役割を意識できるように、友達との関わる活動を取り入れる。	
11	進路学習③	5	○進路実習報告会 ◆自分や友達の進路への取り組みを振り返ることで、卒業後の社会参加への期待感を高める。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。	
12		3			
1	季節の活動	3	○新年の気持ちをもち、目標を立てる。 ○墨の香りを感じながら、書初めを行う。 ○正月遊び ○豆まき ◆日本固有の文化を体験し、活動に興味・関心を向ける。	教材に直接触れ、体験することで、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。	
2		5			
3	3年間のまとめ 卒業するにあたって	3	○高等部の3年間で学んだことをまとめる。 ◆まとめたことを発表し、卒業に向けての決意を作る。	ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返れるようにする。	
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	特別活動			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 行事や一年間の流れに見通しをもち活動する。 (2) 学年の友達との様々な経験を通して学年集団の親睦と団結を図る。 (3) 文化的な体験を通して、日常生活の楽しみ方を知る。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也、石渡 ひかり、志賀 拓也、渡邊 沙綾 *芳賀 正次、*古谷 誠人、*島垣 悠斗				
年間授業時数	38 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	高等部3学年の生活について 新入生歓迎会	4	○高3の一年間の予定確認。 ◆高等部3学年の一年間の生活を知る。 ○新入生歓迎会のメッセージや出し物を考え練習する ◆新入生を迎える準備をし、上級生としての意識をもつ		ICT機器を活用し、写真や資料を使って分かりやすく提示する。
5	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
6	体育祭に向けて	5	○体育祭の競技や応援練習など。 ◆体育祭に向けて期待を高める。		応援グッズを作成するなどして、練習の段階から本番の雰囲気を味わえるようにする。
7	体育祭事後学習	2	○競技の様子を映像で振り返る ◆それぞれの活動について評価、反省をする。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。
9	伝統文化に触れよう	4	○調べ学習を行う。 ◆日本独自の伝統技術を体験する。		教材だけでなく、衣装や背景を活用し、伝統文化の雰囲気を感じられるようにする。
10	レクリエーション	4	○レクリエーション ◆ルールのある遊びの中で、友達と競ったり、協力したりすることができる。		意図的にチームを組み、生徒同士のやり取りが生まれるようにする。
11	墨東祭に向けて	4	○発表内容についての話し合い・役割決め、練習を行う。 ◆役割をもって、仲間と協力して行事を成功させる。		自分の役割を意識できるように、準備の係活動を設定する。
12	墨東祭事後学習	3	○舞台発表を映像で振り返る ◆それぞれの発表について評価、反省をする。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。
1	主権者教育	3	○模擬選挙を行う。 ◆生徒会選挙を通して選挙を知る。		写真や演説の音声を利用して、「選ぶ」「投票する」ことを主体的に行えるようにする。
2	1年間の振り返り	3	○1年間の学校生活を振り返る。 ◆スライドなどを見て一年間を振り返る。		ICT機器を活用し、写真や資料を使って具体的に振り返ることができるようにする。
3	卒業に向けて	2	○卒業に向けての準備 ◆卒業式練習		社会へ出る意識作りに重点を置きながら、3年間の振り返り、卒業制作、卒業式練習を行う。
通年					

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) いろいろな姿勢をとり、変形や拘縮の進行を可能な限り抑制する。 (2) 触覚防衛反応を軽減し、手指の探索活動を促し、認知理解の力を高める。 (3) 苦手な動きを補う力を身に付けたり、受け止めたりする。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	420 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
通年	個別の取り組み ・健康の保持 ・心理的な安定 ・人間関係の形成 ・環境の把握 ・身体の動き ・コミュニケーション	420	○各部のストレッチ ○肘立て、膝立て等支持姿勢の保持 ○立位、ウォーカー歩行、バランスボールでの座位など ◆身体機能の維持・向上 ○圧迫タッチ、スライドタッチなど ◆触覚防衛反応の軽減 ○電子ギター、ビー玉落としなど ◆手指の探索活動・目と手の協応動作の向上 ○スイッチ教材など ◆因果関係理解、永続性理解の向上 ○リラクゼーション、スヌーズレン ◆心理的な安定		・自立活動部教員、外部専門家との連携し、身体面・認知面の実態について共通理解を図り、複数の教職員が個々の課題に対応できるようにする。 ・個別の認知課題を行う際には、パーテーションや衝立を活用し、視覚刺激などの軽減に配慮する。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 個々の課題に応じた、日常生活に必要な力を身に付ける。 (2) 様々な人と関わり、要求や意思表示を深め、より多くの人とのコミュニケーションの力へつなげる。 (3) 食事のおいしさを感じながら、安全に食事をすることができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替 良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	73 単位時間				
使用教科書					
月	単元(題材) 名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい		指導上の工夫
4	日常生活の指導 手洗い、身支度、食器・食品の運搬、配膳の仕方、挨拶、食事のマナー、偏食の矯正、よく噛んで食べること、食器の後始末、歯磨き、係活動等	73	○挨拶をしよう ●個に応じた方法で、挨拶をすることができる。 ○荷物の準備、片付け ●自分の荷物へ意識を向け、準備や片付けをすることができる。 ○摂食・水分摂取 ●介助を受け入れ、安全に水分、食事をする。 ○歯磨き ●介助への協力動作の力を培う。		・マカトンサインを取り入れ、生徒の自発的な挨拶を促す。 ・巾着やビニール袋を活用し、操作しやすい環境設定をする。 ・食具、食形態、姿勢をよく確認しながら、安全に行うようにする。 ・姿勢や口の中に残っているものに気を付ける。

令和7年度(2025年度) 都立墨東特別支援学校 年間指導計画

肢体不自由教育部門

学 部	高等部	学 年	第3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習			学習グループ名	高③
目標・ねらい	(1) 感触や視覚、聴覚などの感覚を通して、自然や文化、季節の行事について学習する。 (2) 制作活動や制作物などを通して様々な人とつながり、人と関わる力を高める。 (3) 得意な動作を用いて活動に取り組むことで、達成感をもつことができる。				
担当教職員 *学校介護職員	小畑 圭輝、張替、良太、平野 哲也 *芳賀 正次、*古谷 誠人				
年間授業時数	142 単位時間				
使用教科書	なし				
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	指導上の工夫	
4	予定表・時間割表作り	4	○様々な素材、道具を使って、予定表・時間割表を制作する。 ◆友達と協力して掲示物を作成し、達成感をもつ。(主体的に学習に向かう態度)	個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、飾り作りを行う。	
5	夏野菜を育てよう	14	○夏野菜の苗を植え、世話をする。 ◆感覚を用いながら植物を育てる。(知識・理解)	匂いや色の強い植物を選んだり、畑に降りて葉や花に触れたりして育てる。	
6					
7	季節の飾り作り～夏～	6	○色紙をちぎり、貼り合わせて、夏の飾りを制作する。 ◆夏のモチーフを確認して、飾り作りを行い、季節を感じる。(主体的に学習に向かう態度)	夏を意識できる、鮮やかな色彩を用いて、視覚的に捉えやすくする。	
9	夏野菜を収穫しよう	8	○夏野菜の収穫を行う。 ◆植物の成長を感じ、食物へのありがたさや実りの嬉しさを感じる。(主体的に学習に取り組む態度)	畑に降りて、土や野菜の感触を確かめながら収穫する。	
10	A L Tによる指導	8	○外国語を用いてリトミックやゲームを行う。 ◆外国語の歌や言葉のリズムを感じて、他国の文化に親しみをもつ。(主体的に学習に取り組む態度)	教職員も笑顔で元よく言葉掛けしたり、介助したりなど、楽しい雰囲気作りを行う。	
11	冬野菜を育てよう	8	○冬野菜の苗を購入して植え、世話をする。 ◆感覚を用いながら植物を育てる。(知識・理解)	個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、水やりや液肥やりを行う。	
12	クリスマスカードと年賀状作り	8	○紙すき学習で制作した葉書で、クリスマスカードと年賀状を作る。 ◆作業分担をして葉書を製作・記入・投函する。(思考・判断・表現)	自分で作り、ポストに投函するなどの体験的学習を通して、物作りの楽しさや人とつながる楽しさを感じ取れるようにする。	
1	墨象	8	○絵筆と墨を用いて、作品作りを行う。 ●感覚を用いながら、墨象作品を制作する。(思考・判断・表現)	個々のねらいや実態に合わせて教材、補助具を使用し、作品制作を行う。	
2	冬野菜を収穫しよう	8	○売り場に野菜を見に行ったり、冬野菜の収穫をする。 ◆季節ごとの野菜について学習する。(知識・理解)	絵カードや写真、実物等活用し、視覚的に捉えられるよう提示する。	
3	季節の飾り作り～春～	8	○様々な道具、素材を用いて、春の飾りを制作する。 ◆春のモチーフを確認して、飾り作りを行い、季節を感じる。(主体的に学習に向かう態度)	春を意識できる、鮮やかな色彩を用いて、視覚的に捉えやすくする。	
通年	紙すき	62	○個々に応じた作業的な学習	繰り返し行う。また、実態に合わせて補助具などを使用する。	